

チベット今昔ものがたり。 歴史から物語へ。

History Story

今秋公開予定の映画『ラモツォの亡命ノート』（監督：小川真利枝）。
一人のチベット亡命女性「ラモツォ」と、
家族を6年間追いかけたドキュメンタリーです。
そのクラウドファンディングのキックオフイベントとして、
映画をより深く観てもらうために、
チベットの〈過去〉〈現在〉〈未来〉にまつわる映像を紹介しながら、
在日チベット人、チベット研究最前線の専門家とともに、
チベットの“今”と“これから”を考えます。

3月4日(土)

早稲田奉仕園
リバティホール

新宿区西早稲田2-3-1
15:30～17:00(15時開場)
参加費 1,000円

協力: SFT Japan
ルンタ・プロジェクト

3月5日(日)

大阪・天王寺
應典院

大阪市天王寺区下寺町1-1-27
13:00～17:00(本企画は15:20～)
お問い合わせ:090-3627-3864

主催:スーパーサンガ関西
協力: SFT Japan

4月22日(土)

新宿・曙橋
タシデレレストラン

新宿区四谷坂町12-18
15:30～17:00(15時開場)
参加費 1,000円

協力: タシデレレストラン
SFT Japan

チベット人の
ソウルフード
「ツァンパ」を
食べよう会アリ!

※内容は会場によって異なります。

3月4日～6月30日

クラウドファンディング実施中

「モーション・ギャラリー」を検索

→「ラモツォ」を検索

<https://motion-gallery.net/projects/lhamotso>



監督 / 小川真利枝

2007年早稲田大学・教育学部卒。テレビ番組制作会社に就職。退職後ダラムサラへ語学留学。帰国後、テレビでディレクターの仕事の続けながら、ダラムサラの難民収容所の少年を追ったドキュメンタリー『ソナム』(2014)を発表。

過去

『ダラムサラヒストリー』

20分

1959年3月10日。チベットでラサ蜂起がおこり、ダライラマ14世は、インドへ亡命、1960年インド北部のダラムサラに亡命政府を樹立しました。そこには、あるインド人との知られざるエピソードが…。ダライラマ14世の護衛として亡命した元チュシガントク(ゲリラ部隊)のお爺さんと、“ダラムサラの父”と呼ばれるあるインド人のインタビューをもとに、歴史をひも解きます。未発表映像です！



現在

『恐怖を乗り越えて』

25分

2008年、チベット人たちは1959年と同様に自由を求め、蜂起しました。「平和の祭典」であるはずのオリンピックが、北京で開催されることになったからでした。これについて「チベット人が今どんなことを思っているか？」記録した映像が『恐怖を乗り越えて』。監督のドゥンドゥップ・ワンチェン氏は、映画の発表とともに、中国当局に逮捕されました。命がけで集められた、チベット本土に暮らす人々の思いとは？



未来

『ラモツォの亡命ノート』

(ダイジェスト版3分)

& クロストーク(30分)

テンジン・タシさん(在日亡命チベット人・青海省海南州出身)
別所裕介さん(文化人類学者・京都大学白眉センター特定准教授)
小川真利枝さん(『ラモツォの亡命ノート』監督)

2017年秋公開予定の映画『ラモツォの亡命ノート』。『恐怖を乗り越えて』を監督したドゥンドゥップ・ワンチェン氏の妻・ラモツォを6年間追いかけたドキュメンタリーです。2014年、ドゥンドゥップ氏は、釈放されました。しかし現在も、故郷の青海省・海東州で公安から監視された状態が続き、家族は再会を果たせていません。映画のメイキングトークをもとに、チベット本土、亡命者の今とこれからを考えます。



撮影：中原一博